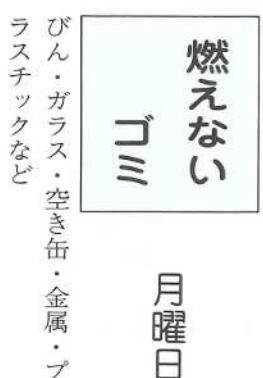
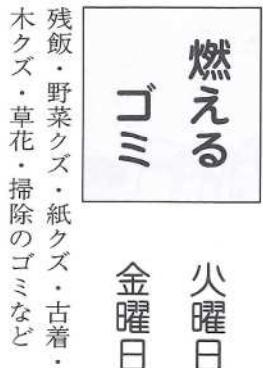




# ゴミは決められた日に 分別して出しましょう

時間はその日の  
午前8時まで



## 本町の「ゴミ収集



町では、燃えるゴミと燃えないゴミを分別して収集しています。それぞれ収集する曜日が決まっていますので、燃えるゴミと燃えないゴミを分別し、お近くのゴミ袋を導入したらとの意見もありますが、さて、あなたは、どう思われますか？

ゴミの量を減らすために、一部の市町村で空き缶条例をつくったり、ゴミの収集を有料化したり、透明なゴミ袋に統一するなどの動きがあります。

これらの市町村では、有料にてたとん家庭から出るゴミの量が少なくなつたとか、透明な袋にし

## あなたは、どう思いますか？

## ゴミ収集の有料化

たお陰でゴミの分別が守られるようになります。

本町でも、有料化や透明なゴミ袋を導入したらとの意見もありますが、さて、あなたは、どう思われますか？

## ゴミの多さに

### みどりの少年団

環境美化に一役買おうと、勝岡みどりの少年団は8月23日、わにつか山頂と登山道の清掃奉仕を行いました。

### ビツクリ

## あなたの声を町政に

福永町長と語ろう  
ふれあい行政  
モーニング・フォーラム



あなたも「あすの三股づくり」に参加しませんか。

今後のまちづくりの進め方や三股町の将来像など、皆さんのがユニークなアイデア、建設的なご提言をお聞かせください。

フォーラムには、どなたでも参加できます。大勢の方のご来場をお待ちしています。気軽な服装でどうぞ。

記

1. 日 時 10月20日(水) 午前7時~8時  
2. 場 所 役場4階会議室

毎月20ラムにいって!!

毎月20日に開催

# 今こそ、真剣に考える時

## 増え続ける ゴミへの対応

### 分別収集の徹底 リサイクル推進

## が「力ギ」



家庭には使い捨て商品があふれている

次から次に新製品が開発され、一度故障しただけで、あるいはちょっと型が古くなつたからという理由だけで捨てられる品々。また、使い捨てのカメラやライター、大量生産、使い捨て時代を背景に増え続けるゴミ——今、地方自治体が最も頭を悩ませているのがこのゴミ問題。家庭から出るゴミの量をどのように減らしていくか、分別収集を徹底し、どのようにしてリサイクルを進めていかが問われています。

紙おむつ、プラスチック製の容器やボトルなどが大量に出回り、ゴミを増やし続ける最大の原因となっています。

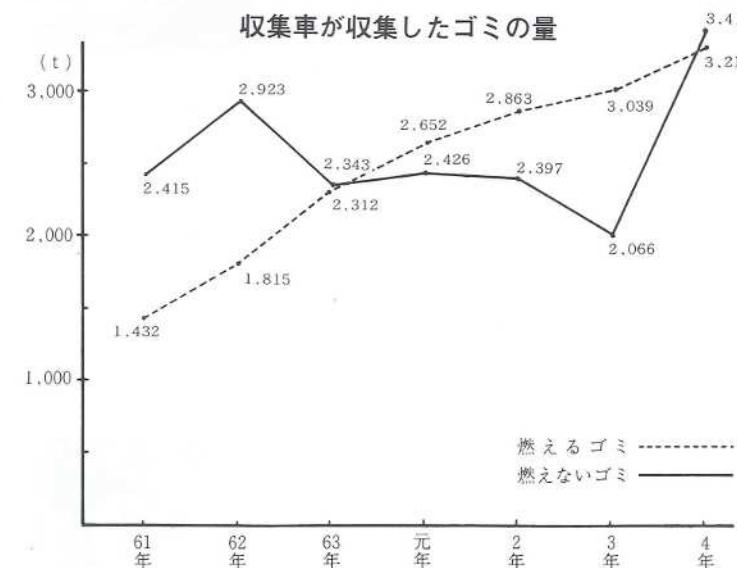
あなたは聞いたことはありますか？

なんか？「深い穴を見つけて毎日毎日、ゴミやいろいろな物を捨て続け、最後にはいらなくなつた原子爆弾まで穴の中に放り込むのです。ふと気がつくと今まで捨てていた物が空から降つて来る」という話。

## 町内のゴミの量 6年前の2倍以上

では、本町では一体どのくらいのゴミが出ているのでしょうか。ゴミ収集車が町内で集めた量は昨年度の1年間で、燃えるゴミが3,211トン、燃えないゴミが3,416トン。これを6年前の昭和61年と比べて見るとき、燃えるゴミで2・2倍、燃えないゴミで1・4倍もゴミの量が増えていることになります。

しかし、この



数字はあくまで収集車が収集した分。個人が自分で焼却場や埋め立て処分場に運んだ分も含めると、町内で1年間に出てるゴミの量はこの数字をはるかに上回ることになります。まだ間に合います。みんなでこのゴミ問題を真剣に考えましょう。







## 長寿、おめでとう

### 町が敬老年金

「敬老の日」を前に町では9月上旬、99歳の白寿を迎えた福永勝盛さんと田上ステさん、88歳の米寿を迎えた男性6名、女性33名に敬老年金と記念写真を贈りました。



## 社団法人として発足

### シルバー人材センター

町シルバー人材センターが10月1日、社団法人として発足しました。シルバー人材センターの法人化は県内で9番目。

高齢者の生きがい対策として、同センターが町内に誕生したのは平成元年5月。以来、着実に実績を伸ばし、現在164名の会員を有するまでに成長。今回、さらに組織の充実と高齢者の就業機会の増大をねらって法人化に踏み切ったもの。

9月24日午後2時から町健康管理制度センターで行われた設立総会には、会員のほか町三役や県の関係者は、このほど三光苑ディ・サービスセンターにマイクロバスを贈りました。購入価格は670万円。バスは、車イスに乗ったまま乗車できるリフト付きで、定員は22名。

同ディ・サービスセンターは今年4月の開設。町内の一人暮らし老人や体の弱い老人を対象に、町デイ・サービスセンターと福祉サービスを分担しており、町が送迎用のバスを貸与したもの。

新型バスが備わったことで施設の利用が促進されることももちろん、本町の高齢者福祉増進に寄与するものと期待されています。

## 送迎OK、快適ですよ

### 三光苑に町から新型バス



## 2地区老人クラブ

町立病院の叶昭人院長を講師に招いて、健康づくり座談会がさきほど第2地区公民館で開かれ、地区内の老人クラブ会員80名が健康フットボール場や蓼池の多目的広場での大切さについて学びました。



座談会は、高齢者の健康づくりへの認識を高めようと、町老人クラブ連合会（高橋安恒会長）が各地区を巡回して行ったもの。この日の座談会では、叶院長がながら、健康を保つには病気を早期発見し、早期治療をすることが欠かせないと説明。参加者は「話を聞きに来てよかったです。結局は自分のためだから……」と日々に語っていました。

## ミニバレーに負けるな

### 9人制バレー ボール大会

第3回町バレー ボール大会が8月22日、武道体育館と勤労者体育センターの2会場で開かれました。

大会は近年、ミニバレー ボールに押されて競技人口が減りつつある

が10万円、米寿者が3万円。高齢化社会の進展を背景に、対象者は年々増え続けています。

福永町長が2日間にわたって一軒一軒の家庭を訪問し、植木の坂元製茶がプレゼントしたお茶をそえて敬老年金を手渡しながら「いつまでも元気で長生きしてください」と激励しました。

敬老年金は町条例に基づいて毎年贈っているもので、額は白寿者



## やつたあ!!つかまえた

### 鯉のつかみ取り大会

なっていました。

町教委が主催する「鯉のつかみ取り大会」は8月29日、三股橋上流の河川ブームに約500匹の鯉を放流して開かれました。

大会は例年、7月のブーム開きに合わせて実施しているもの。今

年は異常気象の影響でなかなか水量が減らず、開催が延び延びに

なってきました。この日は夏休み最後の日曜日とあって、主催者の予想を大幅に上回る約900名もの親子が参加。

午後2時、開始の合図で一斉にブームに入り、腰まで水につかりながら逃げまどう鯉を一心に追いかけていました。



父親のつかまえた大きな鯉を手にし、喜ぶ兄妹

台風13号が9月3日午後、南九州に上陸し、最大瞬間風速50メートルを超える強風と大雨により各地に大きな被害が発生しました。13号は大きな被害を出した伊勢湾台風や一昨年の19号に匹敵する戦後最大級の台風。最大瞬間風速は種子島で59・1メートル、宮崎市でも史上最高の57・9メートルを記録。

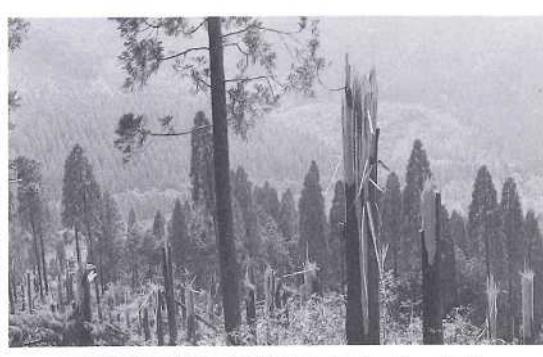
## 台風13号が来襲

### 戦後最大級

ため、9人制バレー ボールの普及を図ろうと実施したもの。

大会には地区単位、あるいは自治公民館単位で男子の部に9チーム、女子の部に11チームが参加。

パート別リンクリーグで熱戦を展



開した後、決勝トーナメントを行いました。結果は次のとおり。

○男子の部  
優勝 1地区、準優勝 植木  
優勝 2地区、準優勝 仮屋

○女子の部  
優勝 1地区、準優勝 植木  
優勝 2地区、準優勝 仮屋